

総合医学、内科誌Impact Factor上位3誌の被引用回数とMEDLINE Publication Typesの2002-2004年調査： 後ろ向きコホート研究

三浦，誠
九州大学情報システム部情報基盤課電子サービス係：係長

<https://hdl.handle.net/2324/8756>

出版情報：医学情報サービス研究大会抄録集. 24, pp.21-21, 2007-08-26. 医学情報サービス研究会大会事務局
バージョン：
権利関係：

総合医学、内科誌 Impact Factor 上位 3 誌の被引用回数と MEDLINE Publication Types の 2002-2004 年調査 : 後ろ向きコホート研究

三浦誠

九州大学情報システム部情報基盤課電子サービス係
(前九州大学附属図書館医学分館)

I.はじめに : Journal Citation Reports で、カテゴリーが「MEDICINE, GENERAL & INTERNAL」の、インパクトファクター上位三誌 New England Journal of Medicine(NEJM), JAMA, Lancet を「Web of Science」2002-4 年で、ドキュメントタイプが Article と Review 計 3,813 件について被引用回数調査をおこなった。また、各論文に MEDLINE の Publication Type を付加することで、EBM と関係のある論文、レビュー論文、Comparative Study(CS)等の各 Publication Type の被引用回数の傾向調査が行える。

II.方法 : 「Web of Science」の「GENERAL SEARCH」から Science Citation Index Expanded (SCI-EXPANDED)--1900-present を Citation Databases とし、SOURCE TITLE に Impact Factor 上位三誌の「NEJM, JAMA, Lancet」と、調査期間である PUBLICATION YEAR を「2002-2004」で検索を行い、Document Type で被引用回数の多い論文 Article, Review を使用した。抽出したデータに、Ovid MEDLINE の Publication Type を付加して調査した。

III.分析 : 調査には Article と Review の計 3,813 件を使用した。それは全データの 22%を占める。Journal Article は総計 3,676 件で、総論文数の 96%を占め最も多いが、他の PT と共に出現する。次に多い順は Clinical Trial, Randomized Controlled Trial と続く。

IV.考察 :

- 1: NEJM の特徴 3 年間平均すると、EBM 関係は自誌平均の 1.6 倍引用されている。CS は約 1.9 倍であるが、1 に満たない年もある。
- 2: JAMA の特徴 3 年間平均すると、EBM 関係は自誌平均の 1.5 倍以上引用されている。CS は約 1.4 倍以上である。
- 3: Lancet の特徴 3 年間平均すると、EBM 関係は自誌平均の 2.0 倍以上引用されている。CS は約 1.4 倍であるが、年により、1.2 倍以下の年もある。

V.結論 : 3 年間平均すると、EBM 関係は 3 誌の平均で 1.7 倍以上引用されている。CS は約 1.6 倍以上である。しかし、Review は、0.9 以下とあまり引用されていない。Review の Meta-Analysis は、約 1.1 倍引用されている。件数は少ないが、Guideline 関係は、約 4.8 倍以上と引用されている。特に Practice Guideline は 3 年間で 4 件と少ないが、平均で約 9.3 倍である。